

令和5（2023）年度 武蔵丘短期大学 自己点検・評価

基準項目	評価項目	評価（1～4） 1:認識している 2:開発・発展途中である 3:習熟している 4:持続的・発展的な質の改善につとめている	本年度 特に優れた取り組みについて	今後の課題
建学の精神と教育の効果	短期大学の建学の精神に基づき、教育目標・目的にカリキュラムに生かし、評価している	4	本学の教育理念、教育目的・目標を見直し、合わせて各専攻の教育目的・目標の見直しを行った。またR6年度からの新専攻のカリキュラムを完成させた。	①各専攻のカリキュラムマップの完成 ②学習成果の可視化
	専攻ごとのアドミッション・ポリシー・ディプロマ・ポリシー・カリキュラム・ポリシーを明確化し、評価している	4	3つのポリシーについて、できるだけ分かりやすい言葉で具体的に示せるよう検討し、見直しを行った。	③リモート授業実施についての検討
	カリキュラムは必要な能力を育成するための編成になっている	4	基礎教育科目について、一部科目の閉講及び新規科目の開講について検討した。	
	学習成果が明確にされ、質的・量的データ評価を行っている	3	質的・量的データ評価として授業評価アンケートを実施し、その結果を踏まえ、授業担当教員は授業改善計画を提出している。教育の質向上のため、全教員で授業見学を実施した。新入生がスムーズに学校生活をスタートできるように、全体オリエンテーションの他に教務オリエンテーションを実施し、履修などのサポートをできるようにした。	
	教育課程編成、実施の方針に基づいて教員組織を整備している。 地域・社会貢献を行っている	2 4	教育課程編成、実施の方針に基づき、短期大学設置基準に定められている教員数を設置している。 東松山市、吉見町、北本市など連携として依頼のあった事業に講師派遣派遣を行っている。また、武蔵丘スポーツクラブを通じて依頼のあった水泳教室やかかげっこ教室などの事業も実施した。	人員に限度があり、全ての依頼の応えられてはいない。解消するためには、人員の補充が必要であるが、現状では難しい。
内部質保証	自己点検・評価を定期的に行っている（PDCA サイクルの確立）	3	原則として毎月「自己点検評価委員会」で協議、報告を実施し、内部質保証のために自己点検・評価活動の体制を確立している。	①自己点検・評価について、定期的な活動体制は整ったが、PDCAサイクルは円滑な回転に至っていない。
	日本私立学校振興・共済事業団の経営判断指標等に基づき実態を把握し、財政上の安定を確保するよう計画を策定し、管理している。	3	経営判断指標「B0」を目指して、学園全体で中期的な計画を立て改善を進めている。	
	情報公開をしている	3	ALOを中心に、各基準ごと各委員会が分担執筆し、当該年度に実施した取り組みや今後の課題、改善案について自己点検評価を行っている。評価した結果を本学ホームページに掲載する。	
3つのポリシー	専攻ごとのアドミッション・ポリシー・ディプロマ・ポリシー・カリキュラム・ポリシーを明確化し、評価している	4	パンフレット、学生募集要項、ホームページに掲載し周知している。 2025年度変更に向け、後藤学園教育理念、教育目標、建学の精神、武蔵丘短期大学教育理念、教育目的・目標をはじめ、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの明確化に努めている。	①パンフレット、学生募集要項、ホームページにて周知しているが、オープンキャンパスでの周知は実施していない。 ②入学前教育について、実施方法・内容の検討。
	入学者に対して適正な入学前指導を行っている	4	入学前教育を実施し、その中で3つのポリシーについて周知・理解を深めた。また、準備学習として専攻ごとに課題を配付し、新入生が入学後の学習をイメージできるようにした。	
学生支援	学生の生活の支援を行い、学生生活が円滑に営むことができるように組織的に行っている	2	新型コロナウイルス感染症が収束し、学園祭を実施することができた。アンケート結果によると学生満足度は高かった。	・学校イベントに対して、学生の参加が消極的であること。 ・SNSの使用方法や不正薬物使用等に対して継続的な啓蒙ができていないこと。
	進路支援を組織的に行っている	4	・ハローワークの利用など相談しやすい環境を整えている。 ・キャリアデザイン授業内で会社説明会を実施した。 ・教職員が情報共有して進路サポートに取り組んでいる。	①就職状況の把握がスムーズではなく、内定先に対して不安がある学生への指導。 ②就職活動に踏み出さない学生の指導の支援。
	進路支援について評価している	3	・卒業生アンケートの実施。 ・卒業生就職先へのアンケートの実施。 ・卒業生就職先の要望による短大の指導への改善の取り組みの検討を行った。 卒業後、相談しやすい環境づくり。	③進路が決定した学生の指導や課題の検討。
教育資源（人的・物的資源）	専任教員は、教育課程編成・実施に基づいて教育研究活動を行っている。	4	今年度も武蔵丘短期大学の紀要を刊行した。また、教育研究活動に関わる著作権についてのオンライン研修会を実施した。	①武蔵丘短期大学紀要を刊行 ②シラバスの見直し
	事務職員学生支援を行うにあたり、職務を果たし、学校施設の管理を適切に行っている	4	今年度も武蔵丘短期大学の紀要を刊行した。また、教育研究活動に関わる著作権についてのオンライン研修会を実施した。	教育資源の不足について、教員と連携して事務局で把握に努めている。
	学生の学習成果の獲得が向上するよう事務組織を整備し、教育課程の実施に基づいて物的資源を整備し、活用している。	3	事務局組織は、教務課・チュードントサポート課・総務課を配置し、修学支援及び学生支援に対応している。どんな相談でも学生に寄り添った対応を心掛け、問題解決に努めている。教職員の労務管理は総務課が担当し、時間外労働や有休取得について基準を満たさない教職員に対し注意喚起を行い法令を遵守している。教育課程編成・実施の方針に基づき、校地、校舎等を整備・管理している。	職員は、自分の担当する業務に限らず、他分野における業務にも視野を広げ自分のスキルアップを図るよう心掛ける。施設整備を管理するにあたり、特に授業で使用している（していない）教育機器の使用状況を把握する。
	教育課程編成・実施の方針に基づいて学習成果を獲得させるために技術的資源を整備している。	4	教育の質向上、教員のスキルアップを図るために、全教員で授業見学を実施した。	①授業見学実施方法の見直し ②研修会の検討
	研究倫理に関する規定を整備し、定期的に研究倫理を遵守する取り組みを行っている。	2	研究倫理に関する学内要綱等を整備している。要綱等に基づき、専任教員は必要に応じて申請書類を提出している。申請書類は、全委員で確認を行っている。研究倫理に教育について、未実施の教員及び新規採用教員に対してe-learnig教育を実施した。	①本学の要綱や指針が、国による最新の「研究に関する指針」に対応しているか検討していない。 ②全教員への研究倫理教育は何年毎に実施するか決まっていない。数年に一度実施しているのが現状である。